

ACCESS

取扱説明書

Cute-mL

EVS014

ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みください。

2018/02/22

販売会社



製造元 **株式会社アクセス**

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町 5-15

お問合せ

フリーダイヤル 0800-800-5224

平日 9:00 ~ 18:00 までにお問合せください。

はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買い上げいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。

本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。



取り扱いを誤った場合、死亡、重傷・傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。

注意

取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。



正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

車をご使用になる前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、以下の内容をご確認ください。

- ・車の正しい取り扱い方法
- ・日常点検、定期点検整備
- ・保証内容および保証期間

※車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しく下さい。

※仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

販売店からご購入された場合は、販売店より上記の説明をお受けください。または、当社ヘルプデスクへお問合せください。

もくじ

安全運転のために …………… 1-1	運転操作 …………… 7-1
あなた自身のために…………… 1-1	発進の準備…………… 7-1
各部の名称 …………… 2-1	発進…………… 7-1
前後面…………… 2-1	加速と減速…………… 7-2
左右側面…………… 2-2	点検整備 …………… 8-1
運転装置と計器類…………… 2-3	点検整備の実施…………… 8-1
折り畳み、展開のしかた…………… 2-4	低速、加速の状態の点検…………… 8-2
車両の特徴 …………… 3-1	タイヤ…………… 8-2
主な特徴について…………… 3-1	ブレーキの遊び、きき具合の点検…………… 8-3
走行距離の目安…………… 3-1	ブレーキパッドの摩耗点検…………… 8-4
各部の取り扱いと操作 …………… 4-1	車体各部の給油脂状態の点検…………… 8-5
キーの取り扱い…………… 4-1	運行において異常が認められた
メインスイッチ…………… 4-1	箇所(point)の点検…………… 8-5
警告灯と表示灯…………… 4-2	灯火装置および方向指示灯の点検…………… 8-5
ハンドル周辺のスイッチ…………… 4-3	こんなときは…………… 8-6
USB 充電ポート…………… 4-4	お車の手入れ …………… 9-1
盗難防止装置（スマートキー）…………… 4-5	洗車…………… 9-1
日常点検 …………… 5-1	保管のしかた…………… 9-2
日常点検の実施…………… 5-1	ユーザー情報 …………… 10-1
日常点検箇所／点検内容…………… 5-1	車輛を廃棄する場合は？…………… 10-1
バッテリーの充電 …………… 6-1	車輛情報…………… 10-1
バッテリー残量の目安…………… 6-1	製品仕様 …………… 11-1
充電器およびバッテリーの	保証書
取扱い…………… 6-2	
充電する場所…………… 6-4	
充電のしかた…………… 6-5	
充電の進行状態の表示…………… 6-8	
充電時間…………… 6-8	
リチウムバッテリーの上手な	
使い方…………… 6-9	
バッテリーの知識…………… 6-10	

安全運転のために

この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

安全運転とは、交通ルールを守るだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

あなた自身のために

安全項目ラベルについて

運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

安全運転は正しい服装から

靴はかかとが低く、運転操作がしやすいものを着用してください。また、くるぶしまで覆われていて足にピッタリしたものを選んでください。

日常点検を必ず行う

事故や故障を防ぐため、日常点検を行ってください。



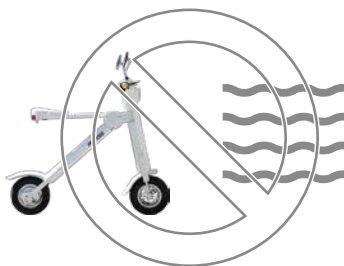
車の異状

異音がしたり、異臭や異常な振動があるときは、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

安全運転のために

冠水した道路を走行しない

冠水した道路を走行すると、モーターが停止するだけでなく、漏電やショートなどの故障の原因となります。やむをえず、冠水した道路を走行し、水に浸ってしまったときは、ただちにメインスイッチを OFF にして、販売店または整備工場にて点検・整備を受けてください。



荷物を積むときは

本車両は積載荷重 120kg 以下（乗員含む）と設計されています。また、法令により第一種原動機付自転車の積載荷重は 30kg 以下に制限されています。（最大限界荷重：150kg）

両手でハンドルを握る

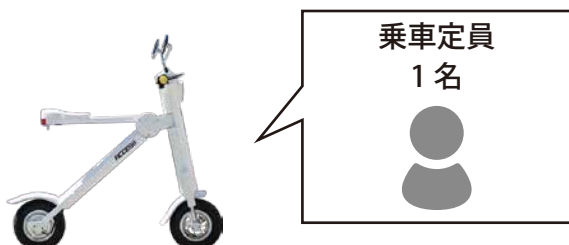
運転するときは、両手でハンドルを握ります。本車両はコンパクト設計のためトレールを少なくしており、片手運転はふらつきにより危険です。

押して移動するときはメインスイッチを OFF にする

車から降りて押して移動するときは、メインスイッチを OFF にしてください。

乗車定員は 1 名

乗車定員を超えて人を乗せることは道路交通法によって禁じられています。



安全運転のために

急激なハンドル操作はしない

急激なハンドル操作は横すべりの原因となります。絶対にしないでください。

むやみに部品の取り外しや交換をしない

むやみに部品の取り外しや交換をしないでください。事故や故障の原因となることがあります。

アクセサリや交換部品は純正部品を使用する

注意

部品交換が必要な場合は正規の規格のものを使用するよう、販売店へ依頼してください。規格が異なった部品を使用すると、故障などの原因となります。

不明な場合は、株式会社アクセスまでお問合せください。
(TEL 055-221-5555)

自賠責保険に必ず加入

自賠責保険に加入することは法令で定められています。万一の事態に備えて必ず加入してください。

また、保険の期限切れにも注意してください。

各部の名称

前後面



1. ヘッドライト、ポジションランプ
2. ウィンカー
3. テールランプ、ブレーキランプ
4. ウィンカー

※ウィンカー等の形状は、商品改良により変更される場合があります。

各部の名称

左右側面



1. スタンド／ステップ

2. 充電ソケット

折り畳み時



ステップ

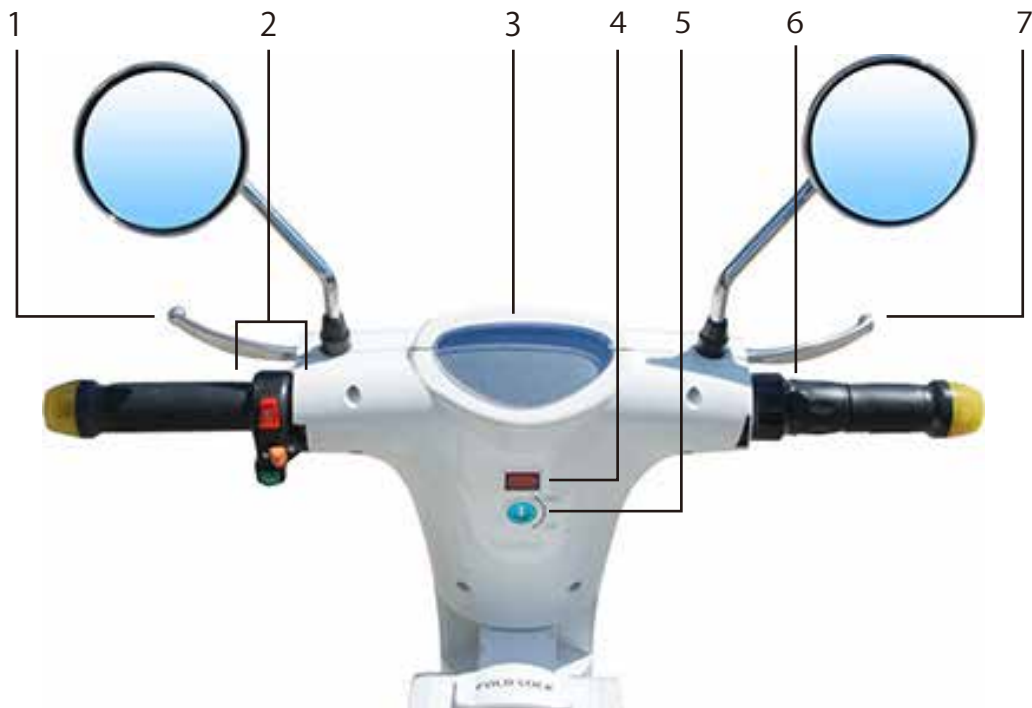


充電器



各部の名称

運転装置と計器類



- 1. リヤブレーキレバー
- 2. ハンドルスイッチ
- 3. メーター
- 4. USB 充電ソケット

- 5. メインスイッチ
- 6. スロットルグリップ
- 7. フロントブレーキレバー

各部の名称

折り畳み、展開のしかた

折り畳み

1. ロックを外します。



2. サドルを畳みます。



3. フロントをを起こしながら畳みます。



4. しっかりとロックをかけます。



注意

ロックをかけるときは、確実に下まで押し込んでください。



新車時はロックが固く、操作しにくい場合があります。少し使用していただく間に、スムーズに操作可能になります。

各部の名称

展開

1. ロックを外します。



2. フロントを広げます。



3. サドルを広げます。



4. しっかりとロックをかけます。



注意

ロックをかけるときは、確実に下まで押し込んでください。



新車時はロックが固く、操作しにくい場合があります。少し使用していただく間に、スムーズに操作可能になります。

車両の特徴

主な特徴について

本車両は、以下の特徴があります。

- ・走行に必要なエネルギーは電気のみを使用し、燃料やエンジンオイルの交換を必要としません。
- ・高性能モーターの採用により、走行中の騒音・振動を大幅に抑えるとともに快適な走行が楽しめます。
- ・漏電遮断器に接続された家庭用コンセント（AC100V）から充電することができます。

走行距離の目安



1回の充電で走行できる距離は、以下のような走りかたや道路状況などにより異なります。

発進・停止の回数、車載重量、坂の勾配、路面の状態、風向き、風速、気温、充電状態、バッテリーの性能低下、タイヤの空気圧低下など。

一充電あたりの走行距離：30km ※

※ 定められた試験条件（車速 15km/h、乗員体重 60kg での定地走行テスト）のもとでの値。

走行時の気象、道路、整備などの諸条件により異なります。

- ・バッテリーの特性上、気温の変化（バッテリー温度の変化）により、走行できる距離が短くなる場合があります。
- ・外気温 25℃のときを基準とすると、気温 ±10℃で、走行できる距離が 5～10% 短くなります。
- ・車両の負荷（乗員の体重や荷物など）が 10kg 増加すると、走行できる距離が 5～10% 短くなります。

各部の取り扱いと操作

キーの取り扱い

- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないように、十分に注意してください。
- キーは2本付属しています。1本は予備として大切に保管してください。
- 1本のキーを紛失または破損したときは、販売店またはキーショップなどで新しい予備キーを作っておいてください。
- キーを2本とも紛失または破損したときは、販売店にご相談ください。

注意

金属製のキーホルダーは使用しないでください。また、リングなどに複数のキーをつないで使用しないでください。走行中にキーホルダーや他のキーがカバーなどの部品に当たり、傷付きの原因となる場合があります。

キーホルダーは、布製または皮製のものをお勧めします。

メインスイッチ



メインスイッチは、ヘッドライト、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入/切」を行います。

警告

走行中にメインスイッチを OFF の位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

ON

全ての電気回路に電源が供給されます。キーを抜き取ることはできません。

OFF

全ての電気回路がオフになります。キーを抜くことができます。

各部の取り扱いと操作

警告灯と表示灯



1. 方向指示器表示灯

2. バッテリーメーター

3. スピードメーター

4. 経過時間

5. 気温計

6. トリップメーター

7. オドメーター

方向指示器表示灯 “◀/▶”

方向指示器に合わせて点滅します。

気温計

気温を表示します。

バッテリーメーター

バッテリー残量が表示されます。

トリップメーター

電源を入れてからの走行距離を表示します。

スピードメーター

スピードが表示されます。

オドメーター

総走行距離を表示します。

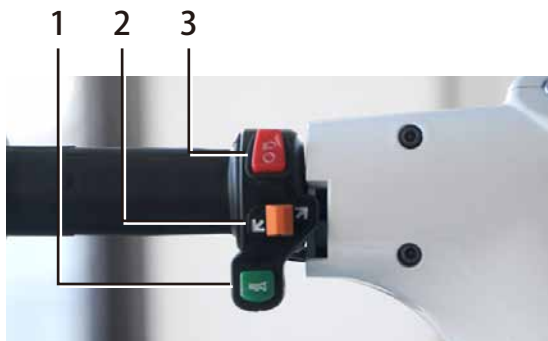
経過時間






電源を入れてからの経過時間が表示されます。

各部の取り扱いと操作

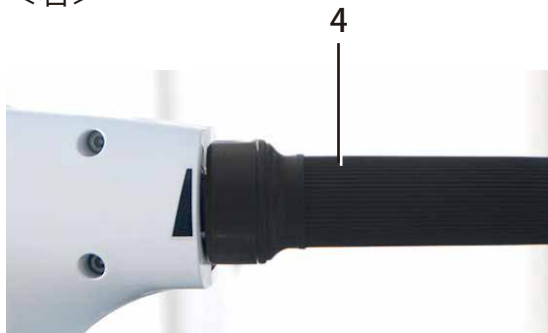
ハンドル周辺のスイッチ

<左>



1. クラクション “”
2. 方向指示器スイッチ “/”
3. ヘッドライト切り替えスイッチ “ / ”

<右>



4. スロットルグリップ

各スイッチの詳細

クラクション “”

押すとクラクションが鳴ります。



クラクションは必要なときにのみ使用してください。

方向指示器スイッチ “/”

進路変更の合図に使用します。



方向指示器を使用すると “ピッピッ” と音がします。

各部の取り扱いと操作

警告

方向指示器は自動的に消灯しません。使用後は、必ず消灯してください。
点滅したままにしておくと、他のかたの迷惑になります。

ヘッドライト切り替えスイッチ “○/≡○”

ヘッドライトを切り替えるスイッチです。

○：ポジションランプを点灯します。

(メインスイッチを入れると自動で点灯します)

≡○：ヘッドライトを点灯します。

注意

ライト類は、すべて専用 LED 仕様です。純正部品以外は使用できません。

USB 充電ポート



スマートフォン等を充電できます。
(5V 1A)



充電する際には、本体のバッテリーを消費します。バッテリー残量に注意してください。

各部の取り扱いと操作

盗難防止装置（スマートキー）



各ボタンの機能（上から）

1. セキュリティ ON

確認音が1回鳴ります。

*セキュリティ ON の状態でハンドルを動かすと、アラームが鳴ります。
ハンドルを何度も動かすと、アラーム音が変化します。

2. セキュリティ OFF（解除）

確認音が2回鳴ります。

3. 車両電源 ON（2回押し）

キーを挿さずに車両を操作できます。

電源を OFF にするには、ボタン1またはボタン2を押します。

4. 車両サーチ

アラームが鳴ります。



各ボタンを操作すると、大きな音が鳴ります。

日常点検

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、日常の車の使用状況に応じて、使用する人の判断で適時行う点検です。

警告

- ・日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- ・異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身または販売店で必ず整備を行ってください。



点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。(モデルにより、サービスツールの有無や内容が異なります)

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、8-1 ページ以降の点検整備の方法を参照してください。

ブレーキ	・ブレーキレバーの握りしろが適切で、ブレーキの効きが充分であること。
タイヤ	・タイヤの空気圧が適切であること。 ・亀裂、損傷がないこと。 ・異常な摩耗がないこと。 ・溝の深さが充分あること。(※)

日常点検

モーター	<ul style="list-style-type: none">・モーターに異音がないこと。(※)・低速、加速の状態が適当であること。(※)
灯火装置および方向指示灯	<ul style="list-style-type: none">・点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	<ul style="list-style-type: none">・当該箇所に異常がないこと。

(注)

※ 印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車など）に実施をしてください。

警告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容は販売店にご依頼ください。点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- ・点検・整備をするときは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。感電やショートにつながる可能性があります。
- ・点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。
- ・走行直後は、モーターなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。
- ・走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。
- ・異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身または販売店で必ず整備を行ってください。

バッテリーの充電

バッテリー残量の目安



乗る前に必ず確認してください。

バッテリーメーターの見かた

メインスイッチを ON にすると、バッテリー残量を表示します。

※バッテリー残量表示は、停車時と走行時で変わります。走行時の残量表示を確認してください。

バッテリーメーター



バッテリー残量の目安

走行中のバッテリー残量表示	バッテリー残量の状態
	(残量目安：100% ~ 60%) 走行可能です。
	(残量目安：40%) 登坂力などが低下します。早めに充電してください。
	(残量目安：20%) ただちに充電してください。
	(残量目安：10% 以下) 走行不能です。充電してください。 ※充電不能になる可能性があります。



・正確なバッテリー残量を確実に表示するため、バッテリーは完全充電状態にしておくことをおすすめします。

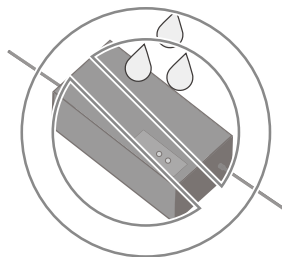
・バッテリー残量の表示および数値は参考値です。

バッテリーの充電

充電器およびバッテリーの取扱い

警告

- ・感電など充電中の事故を防ぐため、以下の内容を守ってください。
 - ≫漏電遮断器に接続された家庭用コンセントを使用して充電してください。
 - ≫雨や水に濡れるところでは充電しないでください。
 - ≫プラグに、ほこり、ゴミ、土、油、水などが付着しないようにしてください。
 - ≫濡れた手でプラグの抜き差しをしないでください。
 - ≫落雷のおそれがある場合は、充電をしないでください。
 - ≫充電中にコードを足でひっかけないでください。
 - ≫コードやプラグをドアやサッシなどで挟まないでください。
 - ≫コードを引っ張ったり、結んだり、強い力を加えたりしないでください。
 - ≫コードをねじらないでください。
 - ≫コードや各プラグの上に物を載せないでください。
 - ≫コードやプラグは、硬いものや重いもので踏まないでください。
 - ≫コードを束ねたり、小さく丸めたりしないでください。
 - ≫コードや各プラグを傷つけたり、加工するなどしないでください。
 - ≫コードを無理に曲げないでください。
 - ≫コードや各プラグを釘などの鋭利なもので固定しないでください。
 - ≫コードをストーブなどの暖房器具に近づけないでください。
 - ≫コードやプラグが損傷（断線や芯線の露出など）している状態で使用しないでください。



バッテリーの充電

警告

充電ソケットを針金などでショートさせると、感電または故障のおそれがあります。

警告

充電するときは、必ず専用充電器を使用してください。

バッテリーなどが損傷するおそれがありますので、専用充電器以外は絶対に使用しないでください。

警告

専用充電器を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

充電ができなくなったり、感電や火災に至るおそれがあります。

警告

充電中の専用充電器に長時間皮膚の同じ場所で触れないでください。

専用充電器は充電中に発熱し、高温になる場合があります。充電中の専用充電器に長時間皮膚の同じ場所で触れていると、低温やけどのおそれがあります。

バッテリーの充電

充電する場所

充電時間は充電環境に左右されます。また、充電環境が悪いとバッテリーや充電器の故障の原因となります。下記の諸条件を満たす場所を選んで充電してください。

- ・電源プラグ、充電器が雨や水に濡れないところ。
- ・直射日光が当たらない、涼しいところ。
- ・風通しがよく、湿気のないところ。
- ・幼児やペットなどが充電器、電源プラグにいたずらをしないところ。
- ・充電中の環境温度が 0° C ~ 45° C の範囲内の場所。(15° C ~ 25° C を推奨)
- ・コードをはさんだり、踏んだり、引っ張ったりするおそれのないところ。

充電おすすめ場所の参考例

- ・日陰で涼しく、風通しのよい場所



- ・充電に最適な環境温度は約 15° C ~ 25° C です。

最適温度

約 15° C ~ 25° C



充電に適さない場所、充電方法

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くでの充電
- ・長い距離を走行した直後の充電
- ・充電途中でバッテリーが規定の温度を越えるとバッテリーを破損する恐れがありますので、充電はできるだけ涼しい場所で行ってください。

バッテリーの充電

警告

専用充電器を幼児やペットがいたずらするところに放置しないでください。

警告

充電するときは、専用充電器を平坦な場所にしっかり設置してください。

このとき、必ずランプが上向きになるよう設置してください。コードが引っぱられたり、逆さのまま使用すると感電や火災に至るおそれがあります。

警告

- ・タコ足配線で充電をしないでください。
-

充電のしかた

警告

・植え込み型心臓ペースメーカー、植え込み型除細動器、その他の医療用電気機器を使用している方は、医師や医療用電気機器製造業者などに充電による影響の有無を確認してから充電を行ってください。充電が医療用電気機器の作動に影響をおよぼすおそれがあります。

警告

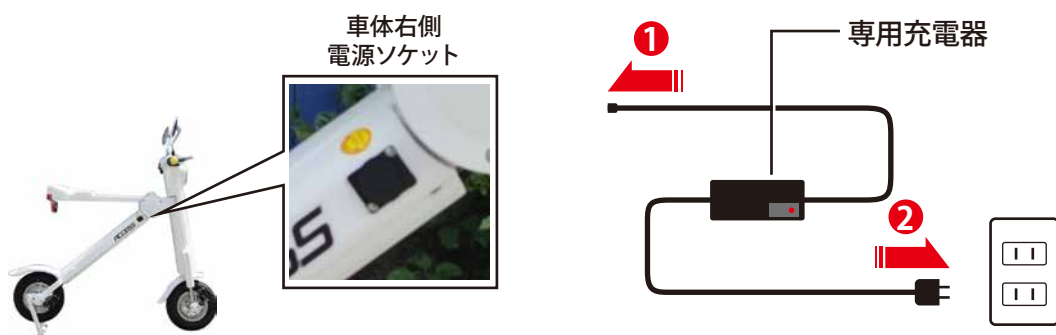
- ・いつもと違う臭いがしたり、バッテリーや充電器から煙が出ているときは、すぐに充電を中止してください。
 - ・周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しないでください。
 - ・ガソリンなどの引火物の周辺で充電しないでください。火災の原因となります。
-

バッテリーの充電

注意

- ・自動車の AC 電源、発電機などを充電に使用しないでください。満充電にならない場合があります。充電するときは、必ず家庭用の漏電遮断器に接続された家庭用コンセント（100V）をご使用ください。
- ・ご使用にならないときは、電源プラグを家庭用の漏電遮断器に接続された家庭用コンセント（100V）につないだままにしないでください。ホコリや異物の蓄積が火災、感電、ショートの原因となります。また、落雷などによる故障のおそれがあります。ご使用にならないときは、安全のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

充電の開始



1. 運転席前部の電源ソケットに専用充電器を接続します。
2. 専用充電器のプラグを、漏電遮断機に接続された家庭用コンセント（100V）に差し込むと、自動的に充電が始まります。

※専用充電器の充電ランプが点灯します。



バッテリーの充電

警告

充電するときは、必ず以下の順に充電器を接続してください。

1. 車体の電源ソケットに専用充電器を接続する。
2. 充電コードのプラグを、漏電遮断機に接続された家庭用コンセント (100V) に挿し込む。

注意

コードの取り扱いは充分注意してください。ドアやサッシで充電コードをはさみ込むと、充電コードを傷つけるおそれがあります。



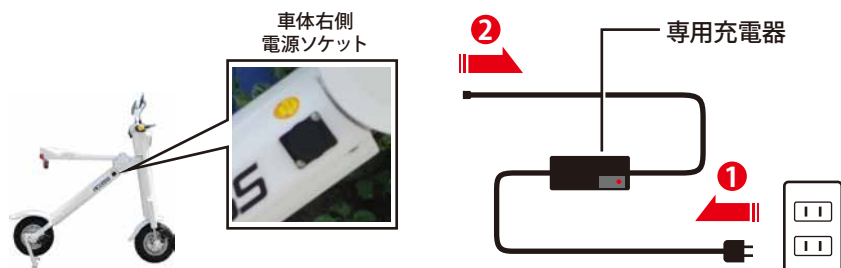
- ・ 風通しの良い涼しい場所を選んで充電してください。

警告

- ・ プラグを抜くときは、プラグを持って行ってください。コードを持って行くと、感電、ショート、発火の原因となります。
- ・ 充電が終わった後は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、ほこりや異物の蓄積が火災、感電、ショートの原因となります。

充電の終了

1. 充電が終了したら、充電コードの電源プラグを家庭用コンセントから抜きます。
2. 車体の電源ソケットからコードを抜きます。




バッテリーの充電

充電の進行状態の表示

充電中は充電状態を充電器の充電ランプに表示します。

充電ランプ



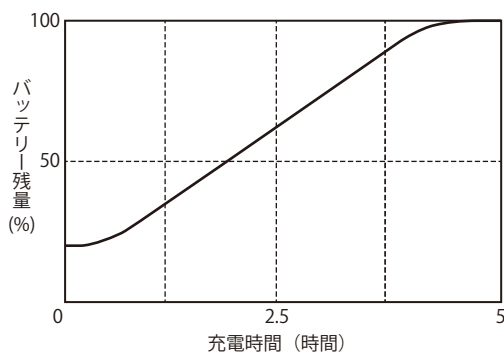
充電の進行状態	充電ランプ
充電中	 赤ランプ点灯
充電完了 (または未接続)	 緑ランプ点灯

充電時間

通常充電

充電時間は、充電前の走行状態やバッテリー残量・外気温により異なります。

バッテリー残量 0%の状態のバッテリーを充電するのにかかる時間の目安は約 5 時間です。



バッテリーの充電

警告

- 専用充電器を、他の機器へ使用しないでください。
 - コードやプラグの改造、分解はしないでください。火災、感電、ショートの原因となります。
 - コードは過度の引っ張りで伸びることがあります。収納に支障が出るほど伸びてしまったときは断線のおそれがありますので、販売店で点検を受けてください。
 - コードや各プラグは安全にお使いいただくために定期的に点検し、変形、傷付きなどの損傷があるときは、販売店に依頼して純正部品と交換してください。
 - 車体が大きく破損、変形しているときは感電のおそれがあります。バッテリーや電気配線に触れないでください。
 - いつもと違う臭いがしたり、充電器やバッテリーから煙が出ているときは、すぐに充電を中止してください。
 - 充電をするときは、直射日光が当たらない、涼しい場所を選んで充電してください。
 - バッテリーの残量が少ない状態で、長期間保管しないでください。
 - 故障したバッテリーは使用しないでください。その他の部品の故障の原因となります。
-

リチウムバッテリーの上手な使い方

バッテリーは、満充電に近い状態（100～80%）で高温の場所に長時間置かれると劣化が進みます。バッテリーの寿命を延ばすため、以下のような取り扱いをおすすめします。

- 充電をするときは、直射日光が当たらない、涼しい場所を選んで充電してください。
- バッテリーの残量表示が20%以下、または60%以上の状態で、長期間保管しないでください。
- 車両を保管するときは、直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所を選んで保管してください。
- 長期間使用しないときは、バッテリーの残量表示が30～50%の状態にして、涼しい場所（最適温度20°C～25°C）に保管してください。もし、保管中に残量表示が30%以下になったら、50～60%まで充電してください。

バッテリーの充電

注意

バッテリーの電圧が極端に低くなるまで放電してしまうと、充電ができなくなり、バッテリーが使用できなくなります。

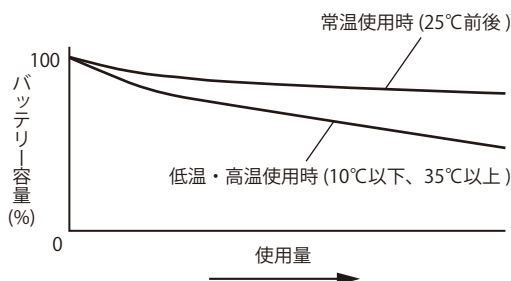
そのような場合には、電気自動車／電気二輪車取扱店、またはアクセスお客様サポートにご相談ください。

バッテリーの劣化

この車両に使われているバッテリーは、性能（放電容量）が徐々に低下してゆく特性を持っています。性能低下の度合いは使用条件によって大きく異なります。

バッテリーの放電容量が低下している場合、正確なバッテリー残量を確実に表示するため、バッテリーを満充電にしてください。それでも改善しない場合は、走行後、バッテリーを2～3時間放置してから満充電にしてください。

バッテリー劣化のイメージ



バッテリーの知識



- 充電前にバッテリーを使い切る必要はありません。
- 使用年月や使用条件により徐々に放電容量が低下します。

バッテリーの充電

- ・外気温により性能が変化することがあります。低温時は常温時に比べて、一充電あたりの走行距離が短くなり、また充電時間が長くなります。低温時は常温時に比べて放電容量が低下し、一充電あたりの走行距離が短くなりますが故障ではありません。
 - ・極端に高温または低温の場所でお車を保管すると放電容量が低下することがあります。
 - ・使用しなくても徐々に放電し、バッテリー残量が減っていきます。
 - ・長期間保管後に使用するときは、使用の前に充電してください。
 - ・低温環境で劣化したバッテリーを使用する時、劣化と低温の二重の影響により放電容量が低下しています。
 - ・常温と比較して、低温状態では放電容量がやや下がります。
-

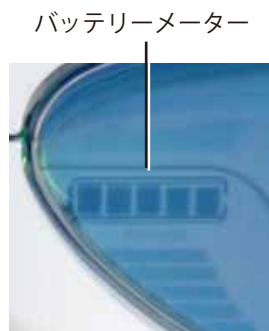
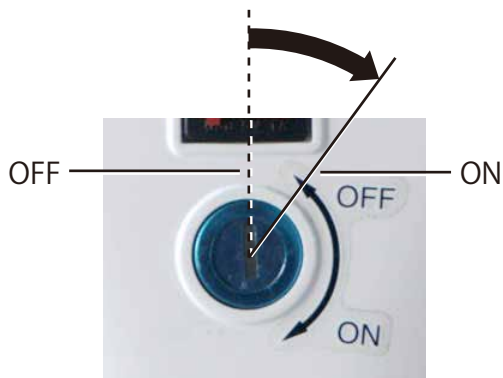
警告

- ・バッテリーを分解しないでください。
 - ・バッテリーを加工、改造しないでください。
 - ・異なった種類のバッテリーと接続しないでください。
 - ・指定以外の充電器で充電しないでください。
 - ・バッテリーを他の用途に使用しないでください。
 - ・周囲が囲まれた換気の悪い場所で充電しないでください。
 - ・充電前に、ほこり、ゴミ、土、油、水などが充電プラグに付着していないことを確認し、付着していた場合は乾いた布でふきとってください。
 - ・濡れた手で触れないでください。感電するおそれがあります。
-

運転操作

発進の準備

1. メインキーを ON の位置まで回します。



2. バッテリーメーターでバッテリー残量が充分であることを確認します。
3. ブレーキレバーを握り、車体が移動しないようにします。
4. 右側の方向指示器を点灯し、発進の合図をします。



方向指示器を使用すると、ピッピッと音が鳴ります。

発進

1. 前後左右の安全を確認します。
2. ブレーキレバーから指を離し、スロットルグリップをゆっくり回し発進します。



スロットルグリップを急激に回すと、急発進して危険です。
ブレーキレバーを握っているとモーターは回りません。

3. 方向指示器を消灯します。

運転操作

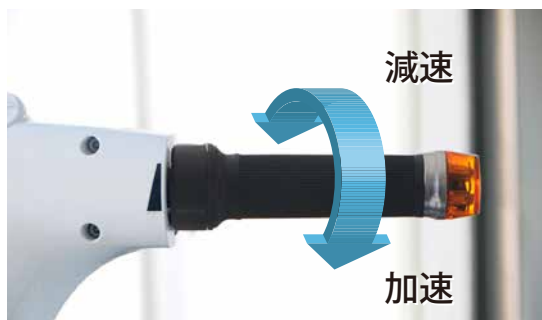
加速と減速

スロットルグリップによる速度調節

速度の調節は、スロットルを開けたり、閉じたりして行います。

速度を上げるには、スロットルグリップを手前に回します。

速度を落とすには、スロットルグリップを奥に回します。



ブレーキによる減速

1. スロットルグリップを完全に戻します。
2. 前後ブレーキレバーを徐々に握ります。

警告

- ・急なブレーキ操作は避けてください。横すべりの原因となります。
- ・踏切、路面電車のレール、道路建設現場の鉄製のプレート、マンホールのフタなどは、濡れているときは極端に滑りやすくなります。そのようなところでは減速し、注意して走行してください。
- ・濡れた路面では、ブレーキがききにくいことを留意してください。
- ・下り坂でのブレーキ操作は困難です。下り坂に差しかかる前までに充分減速してください。
- ・連続したブレーキ操作は避けてください。ブレーキ部の温度が上昇し、ブレーキが効かなくなるおそれがあります。
- ・200m 以上の下り坂を、ブレーキを使用したまま連続して走行しないでください。ブレーキが機能しなくなる恐れがあります。十分ご注意ください、休憩をとりながら走行してください。
- ・坂道でブレーキを離すと、車輛が斜面下側に動きますので、充分注意してください。

点検整備

点検整備の実施

日常点検

5-1 ページ「日常点検箇所／点検内容」の表にしたがって、適時実施してください。点検の方法については、本書の以降のページを参照してください。

定期点検整備

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。

警告

- ・点検整備を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。
- ・安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容は販売店にご依頼ください。
- ・点検するときは安全に充分注意し、以下の内容を守ってください。
 - ≫点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。
 - ≫走行直後は、モーターなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。ヤケドに注意してください。
 - ≫走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。
 - ≫異常が認められたときは、乗車前にご使用のかたご自身または販売店で必ず整備を行ってください。

警告

走行直後はブレーキ関係の部品やモーターまわりに直接触れないでください。ブレーキディスク、モーターなどは使用すると高温になり、ヤケドするおそれがあります。点検整備はブレーキ関係の部品やモーターが充分に冷えてから行ってください。

点検整備

低速、加速の状態の点検

1. ブレーキレバーを握ります。
2. メインスイッチを ON にします。
3. ブレーキレバーをはなします。
4. スロットルグリップを徐々に回して加速したとき、スロットルグリップもモーターもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき異常を感じたら、販売店で点検・整備を受けてください。

警告

スロットルグリップの作動に異常があるときは、早めに販売店にご相談ください。異常がある状態で使用を続けると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。

タイヤ

空気圧



タイヤ空気圧

前輪・後輪：

250 kPa (2.50 kgf/cm²)

タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。この車はチューブレスタイヤを装着しています。

点検整備



- ・タイヤの空気圧は徐々に低下します。見た目には不足していることが判りにくいタイヤもあり、少なくとも1か月に一度はタイヤゲージを使用して空気圧の点検を行ってください。
- ・空気圧の確認は、タイヤが冷えているときに行ってください。走行後はタイヤが暖まっており、空気圧が高くなります。



- ・過度にすり減ったタイヤの使用や不適正な空気圧での運転は、転倒事故などを起こす原因となることがあります。取扱説明書に記載された空気圧を守り、過度にすり減ったタイヤは交換してください。
- ・タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、販売店で点検・整備を受けてください。

タイヤサイズ

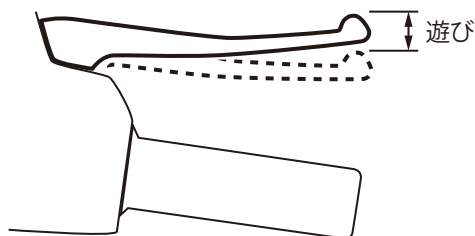
前輪：3.50-6

後輪：3.50-6

ブレーキの遊び、きき具合の点検

ブレーキの遊びの点検

ブレーキレバーを軽く握り、抵抗を感じるまでのペダル先端部の遊びが規定の範囲にあるかを点検します。



ブレーキレバーの遊び

10.0 ~ 20.0 mm

点検整備

点検の結果調整が必要な場合は、調整を依頼してください。

警告

ブレーキ調整後は、必ずブレーキランプの点灯とタイミング、ブレーキの引きずりがないかを確認してください。

ブレーキのきき具合の点検

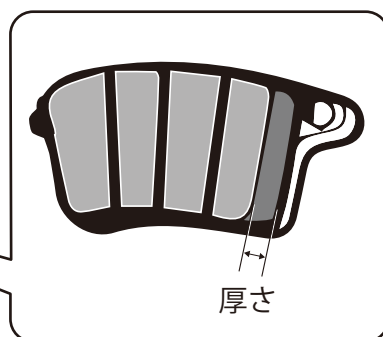
乾いた路面を走行し、ブレーキを作動させたときのきき具合を点検します。ブレーキのきき具合が悪いときは、販売店で点検・整備を受けてください。

警告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

ブレーキパッドの摩耗点検

ブレーキパッドの厚さが新品時の1/2以下になると、ブレーキパッドの使用限度です。販売店で交換・整備を受けてください。



ブレーキパッド
(イラストは実際の形状とは異なります)

点検整備

車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であることを点検します。

異常があるときは、販売店で点検・整備を受けてください。

運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

灯火装置および方向指示灯の点検

メインスイッチを ON にします。

- ・ライトスイッチを ON にし、スモールランプが点灯するかを点検します。同時にヘッドライト切り替えスイッチを操作し、ライトが点灯するかも点検します。
- ・ブレーキレバーを操作し、ブレーキランプが点灯するかを点検します。
- ・方向指示器スイッチを操作し、左および右の方向指示灯が、前後同時に点滅するかを点検します。
- ・レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点検整備

こんなときは

こんなときは、販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

電源が入らない（メーターパネルが点灯しない）ときは？

1. バッテリー残量はありますか？

バッテリー残量がないときは充電してから使用してください。

以上のことを確認しても電源が入らないときは・・・

販売店で点検・整備を受けてください。

ランプ類が点灯しないときは？

次の項目を確認してください。

1. メインスイッチが ON になっていますか？

2. 各スイッチを作動させていますか？

以上のことを確認しても、ランプ類が点灯しないときは・・・

ランプの球切れが考えられます。11-1 ページの規格に合わせて、同じものと交換してください。

注意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。正規のワット数以外のものを使用すると、正常に作動しません。

走行中にモーターが止まったときは？

次の項目を確認してください。

1. バッテリー残量はありますか？

バッテリー残量表示灯でバッテリー残量を確認してください。バッテリー残量がないときは充電してから使用してください。

以上のことを確認しても、モーターが回らないときは・・・

販売店で点検・整備を受けてください。

点検整備



この車両を押して移動する場合は、メインスイッチを OFF にしてください。

メインスイッチが ON のときに各部が動作しなくなったときは？

次の項目を点検してください。

1. バッテリー残量はありますか？

バッテリー残量がないときは充電してから使用してください。

以上のことを確認してから再度メインスイッチを ON にしてください。

再度メインスイッチを ON にしても動作しないときは、販売店で点検・整備を受けてください。

充電器から異臭、煙がでるときは？

コンセントから電源プラグを抜き、ただちに使用を中止してください。販売店で点検・整備を受けてください。

1 回の充電で走れる距離が著しく短くなったときは？

バッテリーの寿命です。

販売店でバッテリーを交換してください。バッテリー交換は有料です。

漏電遮断器が作動して充電ができないときは？

充電操作を止めて、販売店で点検・整備を受けてください。

お車の手入れ

洗車

警告

- ・洗車後、ブレーキの効きが悪くなることがあります。効きが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りを乾かしてください。
 - ・コードやプラグは水で洗わないでください。汚れたときは、乾いた布でふき取ってください。
-

注意

- ・スロットル、電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。
 - ・ヘッドライト、カバーなどのプラスチック部品にガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れなどの原因になりますので注意してください。また、コンパウンドの入ったワックスは、表面を傷つけますので使用しないでください。
 - ・ヘッドライトレンズ、メーターレンズ、カウル、パネルなどのプラスチック部品は、清掃のしかたを誤ると外観を損ねたり損傷したりします。まず、柔らかくて清潔な布やスポンジを使用し、水洗いしてください。もし、汚れが十分に落ちないときは、少量の中性洗剤を水で薄めて清掃してください。中性洗剤を使用して清掃した後は、大量の水で洗剤を完全に洗い落としてください。洗剤の成分が残っていると、プラスチック部品が損傷するおそれがあります。
 - ・高圧洗車機やスチーム洗浄機は使用しないでください。水が侵入し、故障の原因となることがあります。
-



洗車後、雨天走行後、または湿度が高い天候のときなど、ヘッドライトのレンズが曇ることがあります。このような曇りは、ヘッドライトを短時間点灯することで自然に取れます。

お車の手入れ

保管のしかた

保管場所

保管場所は慎重に選びましょう。

- ・平坦で安定のよいところ。
- ・風通しがよく、湿気のないところ。
- ・雨つゆや直射日光が当たらないところ。
- ・車はできるだけ敷地内に保管してください。



保管方法

- ・盗難予防のため、車から離れるときは必ずキーをお持ちください。

長期保管するときは

- ・バッテリーに適した気温、充電状態で保管してください。
- ※6-10「リチウムバッテリーの上手な使い方」をご覧ください。

注意

取扱説明書の指示に従って、バッテリーを充電してください。バッテリーは、完全に放電してしまうと再充電して使用することができなくなることがあります。

- ・保管する前にワックスがけをしてください。（マット塗装部分を除く）サビを防ぐ効果があります。

長期間保管して再使用するときは

- ・長期間（1か月以上）保管して再び使用する場合は、必ず充電をしてから使用してください。（通常の充電よりも若干時間がかかる場合があります。）
- ・走行前に、各部の点検をしてください。

ユーザー情報

車輛を廃棄する場合は？

廃棄を希望する場合は？

廃棄を希望される車輛がある場合は、ナンバープレートを管轄する市区町村の役所で廃車手続きを行ってください。

車体は解体業者などに依頼し、解体（スクラップ）してもらってください。

車輛情報

車台番号



フレーム裏に記載

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

製品仕様

EVS014(Cute-mL)

全長 / 全幅 / 全高	展開時： 1,156/1,035/578mm 折り畳み時： 632/1,160/308mm
最低地上高	160mm
車両重量	25kg
車両総重量	110kg
乗車定員	1名
一充電走行距離	30km (15km/h 定地走行)
定格出力	350W

最高速度	公道走行時 15km/h (私有地内 30km/h)
登坂能力	10%
ブレーキ(前/後)	ワイヤー式ディスク / ワイヤー式ディスク
ショックアブソーバー	コイルスプリング / オイルダンパー
タイヤ(前/後)	チューブレス 3.50-6 / チューブレス 3.50-6
バッテリー	リチウム電池 48V12Ah

交換パーツなど

ヘッドライト	専用 アッセンブリ
スモールランプ	専用 アッセンブリ
テール/ブレーキランプ	専用 アッセンブリ
方向指示灯(前)	専用 アッセンブリ

方向指示灯(後)	専用 48V LED
ライセンス灯	専用 LED
ヒューズ	25A
タイヤ空気圧(冷間時)	前輪・後輪：250kPa

— 保証書 —

No. _____

車名	Cute-mL	車台番号	
----	---------	------	--

ご購入日 (年 月 日)

お買い上げいただきありがとうございます。
保証期間内に通常のお取り扱いで下記の部品に万一故障が生じた場合は、
無償にて部品交換いたします。
(取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。)

保証期間

3年保証 [モーター、コントローラー]
1年保証 [その他機能部品]
6ヶ月保証 [バッテリー]

※注1) 上記保証は部品保証となります。

※注2) 消耗品 (ライト・電球・ブレーキシュー・ブレーキパッド・タイヤ・
タイヤチューブ等) 及び外装品は、保証対象外となっております。

お名前

ご住所 〒

お電話番号

- 本保証書は再発行いたしかねますので、大切に保管してください。
- 本保証書は日本国内でのみ有効です。

株式会社アクセス

〒400-0048 山梨県甲府市貢川本町 5-15

フリーダイヤル：0800-800-5224

TEL：055-221-5555

HP：http://www.access-trd.co.jp

FAX：055-221-0002

MAIL：toiawase@access-trd.co.jp

